

松井繁、石野貴之が地元二枚看板 遠征勢最強の峰竜太を迎え撃つ



松井繁



石野貴之



峰竜太

前回大会覇者の馬場貴也は不在だが、今年もベテランから若手まで豪華メンバーがそろった。地元からは松井繁、石野貴之の二枚看板を筆頭に太田和美、湯川浩司、上條暢嵩などが遠征勢を迎え撃つ。その中でも石野は、昨年10月末から怪我の治療に専念するため休養したが、今年2月に電撃復帰を果たした。2大会ぶり3度目の栄冠をつかみ、完全復活をアピールしたいところだ。

歴代覇者の峰竜太、桐生順平が対抗格。両者ともに当地でGP制覇の経験があるように水面相性を含めて不安は見当たらない。昨年に初のSG制覇を果たした定松勇樹、当地GPで優勝経験のある丸野一樹にも注目だ。

展望

水面・モーター

今節のキモ

1年間を通してイン有利な水面に変わりはなく、海側から入る風が強くなると2Mは引き波が残る影響で逆転が多くなる。舟券の買い時としては、選手コメントなどで乗り心地や操縦性が来ている時は狙ってみても面白い。

エンジンは3月15日が初おろしで今回が3節目。全てのエンジンが1度か2度使用されているが、相場は定まっていない。そのため現状は平行線と考えていいが、あえて優劣をつけるのであれば2度使用されているエンジンの方が回転が上がりやすい。整備などにも制限があることを考えると、整備力よりもペラによる調整力を試されるシリーズになるはずだ。

当地では今年初のビッグレースとなるが、新エンジンのため基本的には中古部品への交換はできない。ペラ中心の調整と考えるなら、やはり普段からこの水面を走る回数が多い地元勢が有利になる。

そこで注目は前回大会でも優勝こそなかったが、GIでは7月のオーシャンカップではSG初出場を果たすなど急成長を遂げた1年だった。今の充実度なら、歴戦の強豪がそろった舞台でも主役に躍り出ても驚きはしない。この相乗効果として上田龍星、井上忠政が奮起する形になれば地元勢全体が盛り上がるだろう。

(安達弘持)

GI #12 住之江 4/12~17

太閤賞(69周年)

予想	本誌	住之江	選手名	支部	期	勝率	近況	当地		
								勝率	優出	優勝
△	◎		松井 繁	大阪	64	7.55	↘	7.39	7	2
			田中信一郎	大阪	69	6.56	↓	6.37	6	1
△	▲		太田 和美	大阪	69	6.94	↘	7.19	6	3
			上平 真二	広島	75	7.17		7.10	2	2
▲	▲		原田 幸哉	長崎	76	6.52	↗	6.34	1	1
			▲ 吉川 元浩	兵庫	79	7.30		7.34	2	1
○			池田 浩二	愛知	81	8.10	↑	7.63	2	0
			寺田 祥	山口	81	6.88		7.42	0	0
			坂口 周	三重	83	6.81		6.97	1	1
			笠原 亮	静岡	84	6.54	↑	6.95	1	0
	△		湯川 浩司	大阪	85	6.76		6.65	6	2
			吉田 俊彦	兵庫	86	6.44		6.42	3	1
			中野 次郎	東京	86	6.52		7.29	2	0
			吉田 拓郎	岡山	90	7.63	↓	6.96	1	0
△	◎		石野 貴之	大阪	90	6.36		7.25	8	4
▲	○		山口 剛	広島	91	7.47	↑	7.07	1	0
			濱崎 直矢	埼玉	92	6.19	↑	4.85	0	0
			大峯 豊	山口	92	6.87	↗	7.16	2	1
	△		岡崎 恭裕	福岡	94	6.57		6.64	1	0
◎	◎		峰 竜太	佐賀	95	8.70	↑	9.00	3	2
△	○		平本 真之	愛知	96	6.87		6.43	1	0
			山口 達也	岡山	97	6.48	↗	6.37	0	0
△			西村 拓也	大阪	98	7.16		7.02	7	1
			船岡洋一郎	広島	98	7.03		7.09	1	1
◎	○		桐生 順平	埼玉	100	7.94	↑	8.19	3	1
▲			片岡 雅裕	香川	101	7.04		6.24	0	0
			大池 佑来	東京	101	6.76		7.11	2	1
	△		河合 佑樹	静岡	102	7.01	↗	6.63	2	0
			桑原 悠	長崎	102	6.93	↗	6.20	0	0
▲	△		上野真之介	佐賀	102	7.48	↑	7.48	4	1
	△		渡邊 和将	岡山	103	6.93	↑	5.33	0	0
			金子 賢志	群馬	103	6.50		5.68	0	0
			岡村 慶太	福岡	104	7.36	↓	6.78	1	1
			中田 竜太	埼玉	104	7.25		6.65	2	0
▲	△		佐藤 翼	埼玉	105	7.44	↗	7.13	3	0
			小野 達哉	大阪	108	6.96	↘	6.86	5	2
	▲		丸野 一樹	滋賀	109	7.31	↓	6.52	3	0
○	○		上條 暢嵩	大阪	110	7.57	↓	7.56	14	3
			高倉 和士	福岡	111	6.90		6.38	1	0
			中村 晃朋	香川	111	6.42		0.00	0	0
			今泉 友吾	東京	112	7.13		6.69	2	0
▲			山崎 郡	大阪	112	7.20	↑	6.66	6	1
▲			藤原啓史朗	岡山	112	6.54	↗	6.56	0	0
	△		椎名 豊	群馬	113	7.13		6.47	2	0
			松井 洪弥	三重	114	6.67		0.00	0	0
			野中 一平	愛知	115	6.70	↘	6.09	1	0
△	△		小池 修平	大阪	117	7.16		6.94	5	0
			上田 龍星	大阪	117	7.14	↓	6.49	5	1
△			井上 忠政	大阪	119	7.22	↘	6.73	6	2
			澤田 尚也	滋賀	121	7.11		6.31	1	0
			前田 滉	愛知	123	6.61		5.57	0	0
	△		定松 勇樹	佐賀	125	7.25	↗	7.33	2	0

2024年5月31日~6月5日

着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	◎	①	馬場 貴也	1	07
2	○	③	菊地 孝平	3	07
3	×	④	深谷 知博	4	06
4	△	②	松井 繁	2	09
5		⑥	和田 拓也	6	14
6		⑤	小池 修平	5	08
2連単		①-③	320円	1番人気	逃げ
3連単		①-③-④	910円	2番人気	



前回結果

絶好調・毒島誠が当地G I 初奪取へ！ 水陸両用の西山貴浩はDR 1号艇で登場



毒島誠



西山貴浩



篠崎仁志

46周年記念(99年)以来、26年ぶりの4月開催。なお、薄暮(サマータイム)での進行となる。前年度覇者の瓜生正義はF休みのため不在だが、目下絶好調の毒島誠が参戦。当地SG、GI戦の優勝歴こそないが、コンスタントに優出しており、何より淡水・海水を問わず活躍を続ける充実ぶりは目を見張る。

遠征勢では他に馬場貴也、茅原悠紀、宮地元輝、深谷知博も当地との相性が良く争覇圏内。地元勢では篠崎元志、篠崎仁志が大将格か。2日目の「ボンコソドリーム」1号艇に指名された西山貴浩は陸も水面も沸かせてくれるだろう。羽野直也、仲谷颯仁、新開航が上位陣に割って入りたい。

展望

2月末に新エンジンに切り替わったばかりで、周年記念までに5節を経過して当日を迎える。素性は固まっていはいないが、いち早く片りんを見せるのも良機の特徴。検定タイム上位で乗り手を問わず展示タイムが出る18、藤丸光一が「乗る人が乗ればもっと良くなる」と高評価した39、梶山涼斗、川野芽唯がいずれもトップ級の気配を見せた63号機あたりが注目機になりそう。一方、春は強風で安定板がつくような荒れ水面になることもあるが、例年4月以降はだんだんと風が穏やかになり、水面は安定する。センター水域からの豪快なまくりが決まる絶好のコンディションが期待できそう

水面・モーター

昨年度はグランプリ直前の大会だったが、今年は一転して春の開催になった。直前に若松での開催されるSGクラシックからの転戦組も多く、各々のリズムは確認しておきたいところ。直近10年の当地周年覇者を並べると地元が2勝、遠征勢が8勝と遠征勢が大きく勝ち越している。とはいえ、周年は地元選手にとって特別な大会。特に篠崎元志、仁志はともにクラシックの出場が叶わなかっただけに、この大会に懸ける思いは強い。近況不振とはいえず、篠崎仁志は2月の初おろしシリーズで当地通算19回目の優勝。区切りの20VがGIタイトルなら何ともし難く、ラマチックな結末になる。

(鳥飼祥平)

今節のキモ

2024年12月8日~12月13日				
着	人気	枠	選手名	コース ST
1	◎	①	瓜生 正義	1 13
2	×	④	大上 卓人	4 17
3	△	③	渡辺 浩司	3 13
4		⑤	渡邊 和将	5 11
5	○	②	毒島 誠	2 14
6		⑥	西山 貴浩	6 21
2連単 ①-④			1150円	4番人気 逃げ
3連単 ①-④-③			4360円	15番人気



前回結果

GI	#22	福岡	4/13~18
福岡チャンピオンカップ (72周年)			

予想	選手名	支部	期	勝率	近況	当地		
						勝率	優出	優勝
本誌	福岡	服部 幸男	静岡	64	6.72	7.72	3	0
		武田 光史	福井	72	6.66	↘	7.30	1 0
		石渡 鉄兵	東京	74	6.36	↗	7.89	1 0
△		重成 一人	香川	80	6.23	↑	8.06	3 0
		深井 利寿	滋賀	81	6.60	↘	6.10	0 0
		坪井 康晴	静岡	82	6.77		6.45	0 0
		齊藤 仁	東京	83	6.87		6.55	2 0
		須藤 博倫	埼玉	83	6.22	↑	0.00	0 0
		中島 孝平	福井	84	6.68	↗	7.45	3 0
△		井口 佳典	三重	85	6.68	↑	6.11	0 0
△		森高 一真	香川	85	6.45		6.33	0 0
		杉山 正樹	愛知	87	7.02	↘	6.51	0 0
		益田 啓司	福岡	88	6.61	↘	6.35	4 1
○	◎	毒島 誠	群馬	92	7.96	↑	7.81	2 1
		渡辺 浩司	福岡	93	7.49	↘	7.35	13 4
▲	◎	馬場 貴也	滋賀	93	7.62	↗	7.39	2 1
		杉山 裕也	愛知	93	6.83	↘	6.55	1 0
		福田 浩二	兵庫	94	7.26		6.83	1 1
		古賀 繁輝	佐賀	94	7.04	↓	6.72	2 0
	△	新田 雄史	三重	96	7.15	↗	7.50	3 2
▲	△	篠崎 元志	福岡	96	7.45		7.59	6 2
		柳生 泰二	山口	97	6.90		6.68	0 0
△		土屋 智則	群馬	97	7.21		5.00	0 0
		池永 太	福岡	97	7.09	↓	6.67	6 2
		前沢 文史	東京	97	6.21	↓	7.45	1 0
◎	×	西山 貴浩	福岡	97	7.64	↗	6.55	2 0
◎	○	茅原 悠紀	岡山	99	7.46	↑	8.51	2 1
		有賀 達也	埼玉	100	6.58		5.14	1 0
▲	○	宮地 元輝	佐賀	100	7.42	↘	7.57	4 2
△		和田 兼輔	兵庫	100	6.83	↗	6.78	3 1
△		篠崎 仁志	福岡	101	6.39	↑	7.94	11 6
×		深谷 知博	静岡	103	7.04		7.27	4 0
注		菅 章哉	徳島	105	6.72	↑	8.45	1 0
		中嶋健一郎	三重	105	6.31	↗	6.22	0 0
		磯部 誠	愛知	105	6.92		6.44	0 0
		中山 雄太	愛知	108	6.54		0.00	0 0
		木下 翔太	大阪	108	6.87		7.11	1 0
		山田 祐也	徳島	112	6.85		7.63	2 2
		佐藤 博亮	愛知	113	6.70		6.87	2 0
		松尾 拓	三重	114	6.36		0.00	0 0
△		井上 一輝	大阪	114	6.61	↗	7.18	0 0
△		羽野 直也	福岡	114	6.88		7.28	3 1
		佐藤隆太郎	東京	115	6.82	↗	6.16	2 0
△		仲谷 颯仁	福岡	115	7.36		6.66	4 0
		豊田健士郎	三重	115	7.04		7.83	2 1
		入海 馨	岡山	116	7.31	↓	6.90	0 0
×		新開 航	福岡	118	7.26		6.18	0 0
		溝口海義也	福岡	119	6.38	↘	5.06	0 0
		佐々木完太	山口	120	6.55		7.00	0 0
		安河内 健	佐賀	122	6.76		7.18	1 0
△		松本 純平	埼玉	123	6.85		6.91	1 0
		中島 秀治	滋賀	124	6.90		5.80	1 0